

# かけがわ

# 市議会だより

平成30年11月定例会の内容をお知らせします。

第 66 号

平成 31 年 2 月 1 日

シリーズ  
第7回

おもな内容

市議会って？	2 ページ
一般会計補正予算の概要	3 ページ
11月定例会における審議結果一覧	4 ページ
年間テーマを定め活発な議論	5 ページ
議会報告会	8 ページ
一般質問	10 ページ
特別委員会調査報告	15 ページ
傍聴席／2月定例会の予定	16 ページ



中央「ならここキャンプ場の“おちばのプール”」左下「三熊野神社の朝の風景」右下「事任八幡宮のご神木」  
ことのま

# シリーズ “市議会って?” ⑦

今回は、  
せいがん ちんじょう  
請願・陳情について!



茶のみやきんじろう  
©掛川市

市議会って何をするとところ?  
市議会議員はどんな仕事をしているの?  
素朴な疑問にシリーズでお答えします。

## せいがん ちんじょう 請願・陳情

市政に対して“こうしてほしい”というような要望を、市民の皆さんから市議会に「請願」「陳情」という方法で伝えることができます。

せいがん  
請願とは?

憲法により保障された権利で、紹介議員が必要です。

ちんじょう  
陳情とは?

法律で保障された権利ではありませんが、請願に準じた扱いとなります。紹介議員は不要です。

議会は提出された請願・陳情を審議し、必要と認められたものは市の仕事に活かすよう、市長へ。また、国や県に意見書を提出することもあります。



陳述を委員会で行う様子(6月定例会・環境産業委員会)

### 作成と提出のしかた

請願書・陳情書の所定用紙はありません。  
請願者・陳情者が①～⑥の必要事項を記入し作成して下さい。

- ①宛先(掛川市議会議長)
- ②紹介議員の署名または記名押印(陳情は必要ありません)
- ③請願(陳情)の趣旨
- ④提出年月日
- ⑤請願者(陳情者)の住所、氏名、押印(法人の場合はその所在地と名称)
- ⑥請願者(陳情者)代表以外の住所、氏名、押印(自署の場合は押印不要)

※署名簿を添付する場合は、署名者の住所・氏名が必要です。  
※常用漢字を使用して下さい。

### 請願書・陳情書の例

請 願 (表紙)	陳 情 (表紙)
① 掛川市議会議長 様 〇〇〇〇…に関する請願書 ② 紹介議員〇〇〇〇 印 (内容)	① 掛川市議会議長 様 〇〇〇〇…に関する陳情書 (内容)
〇〇〇…に関する請願書 ③ (内容要旨)	〇〇〇…に関する陳情書 ③ (内容要旨)
④ 平成 年 月 日 ⑤ 提出者〇〇〇〇 印 他…名	④ 平成 年 月 日 ⑤ 提出者〇〇〇〇 印 他…名
住 所 氏 名 印	住 所 氏 名 印
⑥	⑥



詳細は議会事務局  
☎0537-21-1160 へ  
お問い合わせください。

みなさんに寄り添う議会、みなさんの  
声を反映させる議会を目指して!

## 平成30年度11月補正予算の概要

### 小中学校・幼稚園のエアコン整備や台風災害等に対応

#### ■平成30年度一般会計補正予算

<b>補正額</b> 補正予算(第4号) .....	<b>14億5,088万円</b>
補正予算(第5号) .....	<b>1億6,568万円</b>
	<b>合計 16億1,656万円</b>

**補正後の予算額 489億3,036万円**

#### ■歳出(主な項目)

##### 補正予算(第4号)

- ①小中学校・幼稚園エアコン整備事業費追加 … **13億1,000万円**
- ②台風21号・24号等による施設修理費等追加 … **1億4,088万円**

##### 補正予算(第5号)

- ①職員人件費減 .....
- △5,801万円  
人事異動及び人事院勧告に伴う給与改定ほか

---

- ②周恩来と松本亀次郎ろう人形設置事業費追加 .....
- 1,018万円  
中国天津市との協定式、ろう人形設置費、除幕式等

---

- ③地域協働環境整備費増 .....
- 5,000万円(3億2,062万円→3億7,062万円)  
各地区から要望のあった側溝の改修や道路の補修等

---

- ④放課後児童健全育成事業委託料増 ..
- 1,563万円(2億488万円→2億2,051万円)  
障がい児受入加算分等追加4クラブ(倉真、西郷B、曾我、和田岡)

---

- ⑤防犯対策強化整備事業費補助金追加 .....
- 249万円  
防犯カメラ設置等4園(掛川こども園、桜木こどもの森、掛川聖マリア保育園、かけがわのぞみ保育園)

---

- ⑥茶品評会出品対策事業補助金増 .....
- 72万円(128万円→200万円)

---

- ⑦農業用溜池整備事業費増 .....
- 890万円  
耐震性緊急点検調査追加100万円  
施設修理費(応急処置)追加390万円  
池の谷池(美人ヶ谷)、瓦ヶ谷池(初馬)、居沼池(高御所)、仏沢池(入山瀬)  
県施行事業費負担金増400万円(1,560万円→1,960万円) 10→26池

---

- ⑧観光施設等維持整備費増 .....
- 4,051万円(1億6,115万円→2億166万円)  
粟ヶ岳山頂休憩所 棟内設備、備品、外構整備、電柱移転補償等

---

- ⑨交通安全施設整備事業費増 .....
- 1,300万円(3,803万円→5,103万円)  
各地区から要望のあった危険箇所における区画線や防護柵・カーブミラー設置等

---

- ⑩ブロック塀等耐震改修事業費増 .....
- 460万円(650万円→1,110万円)  
撤去(個人)15万円×30件=450万円(既決予算15万円×16件=240万円)  
(法人)40万円×4件=160万円(既決予算40万円×4件=160万円)  
改善25万円×20件=500万円(既決予算25万円×10件=250万円)

## 11月定例会における議案一覧

### ■全会一致で可決

予 算	平成30年度掛川市一般会計補正予算(第4号)について
	平成30年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について
	平成30年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第2号)について
	平成30年度掛川市介護保険特別会計補正予算(第2号)について 地域密着型介護予防サービス給付費の増額等
	平成30年度掛川市簡易水道特別会計補正予算(第1号)について
	平成30年度掛川市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について
	平成30年度掛川市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について
	平成30年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業特別会計補正予算(第1号)について
	平成30年度大坂・土方工業用地整備事業特別会計補正予算(第1号)について
平成30年度掛川市水道事業会計補正予算(第1号)について 台風24号による特別損失の増額等	

条 例	掛川市職員の給与に関する条例等の一部改正について
	掛川市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について 水道事業所の事務所の移動に伴う所在地の変更

そ の 他	土地の取得について 災害時における防災機能と市民の利便性向上を目的とした近隣公園の建設用地として下垂木多目的広場の土地の一部を「掛川市土地開発公社」から取得
	公の施設の指定管理者の指定について(掛川市生涯学習センター)
	公の施設の指定管理者の指定について(掛川市美感ホール)
	公の施設の指定管理者の指定について(掛川市文化会館シオーネ)
	公の施設の指定管理者の指定について(掛川市総合福祉センター)
	掛川市北部1工区小・中学校他空調設備設置工事契約の締結について
	掛川市北部2工区小・中学校他空調設備設置工事契約の締結について
	掛川市北部3工区小・中学校空調設備設置工事契約の締結について 掛川市南部小・中学校空調設備設置工事契約の締結について

### ■賛否の分かれた議案(賛成多数可決) ※議長(鈴木正治)は、採決には参加しません

議案名	議員名	創 世 会							共に創る掛川				至*	志*	公*	共*							
		鈴木正治	藤原正光	嶺岡慎悟	寺田幸弘	榛村航一	松本均	大石勇	小沼秀朗	野口安男	山本裕三	二村禮一	鈴木久裕	松浦昌巳	富田まゆみ	藤澤恭子	窪野愛子	榛葉正樹	鷲山喜久	草賀章吉	山本行男	勝川志保子	
平成30年度掛川市一般会計補正予算(第5号)について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
掛川市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
掛川市特別職の職員で常勤のもの給料等に関する条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
掛川市教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

\*至▶至誠の会 志▶志誠会 公▶公明党かがわ 共▶日本共産党

# 年間テーマを定め 活発な議論

常任委員会ごとに1年間の研究テーマを定め、これまで調査研究を重ねてきました。また、議会報告会では調査内容を市民のみなさんにお示しし、意見交換を行いました。今回その内容に基づき、市の三役及び部課長と議論する場として、委員会協議会を開催いたしました。ここでは、議論された内容の要旨を掲載します。

## 総務委員会

委員長 二村 禮一

「掛川市の都市づくりと地区自治組織のあり方について」、委員会として以下のように組織の課題を整理し、話し合いました。

### 地区まちづくり組織の課題について

自治会の各組織とまちづくり組織とが重複し組織が複雑でわかりにくい、役員が兼務し、繁忙煩雑、なり手不足、組織間の連携や分担がはかりにくいなど、地区ごとにはさまざまな課題があり、総合的な地域自治組織としての機能が果たしにくい状況となっているのではないかと。

### 地区自治組織の課題整理について

地区内の歴史や経緯を活かし、地区規約のなかに、地区区長会、まちづくり協議会の位置づけを定め組織の簡素化を図ること。まちづくり協議会の役員は組織の実情に応じ、各区に依頼・選出し、区役員の兼任は極力避けること。事務局を充実強化し、組織活動の継続性を確保し、地区区長会会長、まちづくり協議会会長の任期の課題や専門部の負担軽減を図ることが必要ではないかと。

### 主な意見について

- 地区を代表する機関を明確にする必要がある。
- 中長期的な地区まちづくりを行うためには、事務局体制の長期的な運営が必要である。
- 同じような組織が重複しないように組織の簡略化が必要である。



新潟県上越市で地域自治体の仕組みを視察



長野市で住民自治協議会について視察

# 環境産業委員会

委員長 小沼秀朗

当委員会は「掛川の森の在り方や活用方法を考えた再生可能エネルギー」を年間研究テーマと定め、市内外の視察調査研究と協議を重ねてまいりました。その概要をご報告申し上げます。

- 1 地域完結型となる地産地消を重視した再生可能エネルギーを推進し、太陽光発電、風力発電に加え、バイオマス発電の研究も進めるべきです。それらを災害時に活用できる自家発電システムとしてスマート公民館、スマート生涯学習センター等の整備や、各戸の蓄電池設置補助事業の拡充を図るべきと考えます。
- 2 「新電力事業シュタットベルケ」の研究を進め、市民、民間との協議、連携を深めながら、電力自由化を含め、余剰電力の有効活用を推進すべきです。また、電力への市民意識を高める必要があります。
- 3 環境保全、温暖化対策を考え、景観阻害や反射光等周辺に害を及ぼす可能性のある太陽光パネル設置等に関するガイドラインを作成すべきです。また、東山及び板沢地区の指定希少野生動植物種保護区等の生物多様性を考慮し、里山を守る必要があります。



北海道豊頃町でメガソーラーを視察



北海道庁でバイオマスネットワークを視察



東海大学清水キャンパスで木質バイオマス小規模発電機を視察



北見市でペレットボイラーを視察

# 文教厚生委員会

委員長 松本 均

当委員会では、年間テーマである「掛川市の待機児童の現状と対策」について、議員間や当局を交えて意見交換を行いました。

委員会の一年間の活動の中で、知り得た内容や視察での知識、子育て中の若い夫婦の要望や、市内9会場で開催された議会報告会の中で出た質問や意見またアンケート等で多かった内容を参考に、①保育士確保について、②保育所整備について、2つの話題にしぼり、話し合いました。

当局より、次年度の入園予測者数の説明があり、今年度当初国定義では、46人の待機児童が出ているため、今後の対策として、保育士の育成と再雇用制度の充実を進

めていく事や保育士の給与など、雇用環境について意見が出ました。また、認可保育所の整備や企業内保育所の推進など、保育所の環境整備について話し合いました。

少しでも、待機児童の解消に繋がるように、委員会としては、当局の政策について協力していく事とし、閉会しました。

今後も当委員会は、子育て中の若い夫婦の意見を聴きに、出向いて行きたいと考えています。



あいら 鹿児島県始良市議会で子育て基本条例を視察



熊本市議会で待機児童ゼロ政策を視察



島田市の子ども館を視察



子育て世代の方と意見交換会を開催

～「市民により開かれた議会」～

# 平成30年度 議会報告会開催

多くの皆さまのご参加、ご協力ありがとうございました。

市民の皆さんに、掛川市議会がどんな活動をしているのか、また、市の重要課題にどう対応しているのかを知っていただくとともに、ご意見を伺い、議会活動に活かすため、議会報告会を開催しました。総参加人数は549人（前年度比27人増）で、議会や市政について多くのご意見をいただきました。

## ■会場と参加人数

開催日	地域	会場	参加人数
11月 2日(金)	原野谷中学校区	原田地域生涯学習センター	37人
12日(月)	栄川中学校区	東山口小学校体育館	63人
13日(火)	桜が丘中学校区	和田岡地域生涯学習センター	54人
14日(水)	東中学校区	南郷地域生涯学習センター	72人
16日(金)	城東中学校区	大東北公民館	46人
20日(火)	西中学校区	市役所4階会議室1	67人
21日(水)	大浜中学校区	大東支所3階市民交流センター	89人
27日(火)	北中学校区	初馬会館	75人
29日(木)	大須賀中学校区	大須賀支所2階市民交流センター	46人



議会報告会の様子

## 開催内容

**報告** 日本一防災意識の高いまち掛川を目指すための提言について

**テーマ** 常任委員会の取り組みについて

- 総務委員会** 掛川市の都市づくりと地区自治組織の在り方について
- 環境産業委員会** 掛川市の森の在り方や活用方法を考えた再生可能エネルギー
- 文教厚生委員会** 掛川市の待機児童の現状と対策

## みなさんからの主なご意見（アンケート・会場での質疑より）

### 総務委員会

総務委員会素案に賛成です。ぜひ頑張ってください。まち協事務局の充実、確かにその通りです。有償と増員、これが必要と思います。事務局員にはそれぞれの担当部門を決めて、その部との連携と取りまとめを行うべきと思います。

総務委員会素案には反対します。区の仕事は身近な運営に関わる業務であり、まち協は10年先、20年先の地区のあり方を考える組織です。同時に考えるには無理があります。

「まちづくり協議会」議会よりの提言はごもっとも。区役員と兼任して活動しているが、やらされ感満載。根本から組織を考えての取り組みに賛成。

まちづくり協議会の組織は統一する必要はないと考えます。地域にあった形を3事例程提示し、選択していけばよいと思う。

現在、区の役員として地区の活動参加がやたらと多くてまっています。全ての活動で地区発展のため、まち協会長と区長会長の兼務は非常に厳しい。事務局が充実していないと不可能。まち協が発足して時間が短く地域差が大きい。

## 環境産業委員会

シュタットベルケ、ぜひ進めてください。

地産地消で使えるものがあれば有効利用し、設備投資は少額におさえ、再生可能エネルギー施策をお願いしたい。

大規模太陽光発電の建設は県内でも問題となっており、条例などの制定が急務。

今後は蓄電が重要であり、災害時にも役立つことから、太陽光を含めたエネルギー施策を行政を含め真剣に考えるべきである。山林が放置されている状況から、国と連携をして山林整備をお願いする。

太陽光発電は素晴らしいですが、ガイドラインが必要ですね。

## 文教厚生委員会

保育園の先生は増えていない。逆に減っている。パートばかりになっている現状。もっと先生の待遇を良くしないと、定員は増やせないんじゃない？

待機児童ゼロになれば、入所希望者が増える。どれまで確保すれば良いのか。認可外保育や幼稚園への支援をさらに行き、隠れ待機児童の定義を見直すべきである。子育て支援ではなく、親の就労対策になっている。

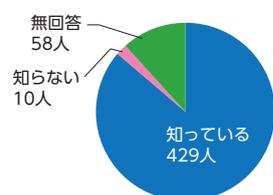
待機児童については今後も需要が増えると思われませんが、どこまで対策をしていけばいいのかが課題だと思います。

0歳から3歳までは親が育てていける社会を作りだすことが大切だと思う。理想を掲げて進むように。

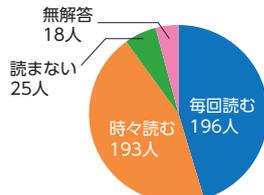
## 議会だよりについてのご意見

- 昨年あたりから堅苦しさがなく、とても読みやすくなった。カラフル、写真など見やすい紙面がいい、充実してきている。
- 議会質問内容等、活動内容がよくわかり理解でき勉強になる。
- 色使いの統一化、グラフ、イラスト利用等で視覚にわかりやすく。
- 文字が多すぎて読む気になれないので、簡潔に大きな文字で。
- 委員会活動をもっと知りたい。委員会や全員協議会日程を載せてほしい。
- 質問内容を全部載せてほしい。
- 増ページが必要です。もっと知りたい。
- ページ数を減らして発行回数を増やして。

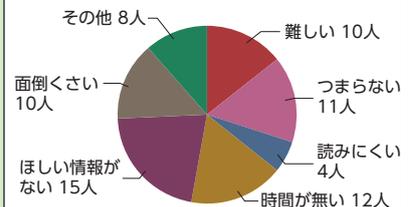
議会だより各戸配布を知っているか



議会だよりを読んでいるか



議会だよりを読まない理由は





**「掛川深蒸し抹茶」は  
いかがですか**

**Q** 加工用を中心として抹茶需要が伸びる現状を踏まえ、新たに「かぶせ」を始める農家への支援、加工品メーカーや飲料メーカーへのトップセールス、有機茶専門の新たな共同工場の設置について市の見解を伺う。

**A** **積極的に支援をしていく**  
かぶせ茶の需要の高まりを受け、平成29年度から予算措置し、被覆茶生産に取り組み農家の支援をしています。  
メーカーへの売り込みについては、掛川茶の利用を検討したい等の情報収集に努めるとともに、情報があった場合には、茶商組合や農協に繋がっています。  
また、有機茶専門の茶工場を整備する取り組みには、関係機関とも連携し、積極的に支援をしていきます。

**更なる障がい児(者)への  
支援策の充実を**

**Q** 医療的ケア児や重症心身障がい児を受け入れられるショートステイ施設の整備、障がい者雇用率のさらなる引き上げに向けて、市はどのような施策を考えているのか。

**A** **障害福祉計画に沿った取り組みをしていく**  
高齢者施設で障がいのある方を受け入れるサービスの推進、また医療的ケアが必要な方を病院で短期間受け入れる事業の活用など、障害福祉計画に沿った取り組みをしていきます。  
働く場所の確保は行政の最大の責任と考え、今後も新規就労500人サポート事業のような事業を積極的に展開していきます。

**【その他の質問事項】**  
・森林保護・木材利用の促進策について



**しごとを生み出すイノベーション(技術革新)支援は**

**Q** 新規起業家の支援体制として、創業支援窓口が開設されている。平成31年度の特定期間認定件数KPI(重要業績評価指数)は10件である。窓口開設の成果と課題を伺う。

**A** **創業の夢が実現するよう支援していく**  
KPIの項目に該当する土、日曜日の相談窓口における創業者数は、初年度の27年度が3件、平成28年度が3件、平成29年度が2件となっており、目標には届いていません。今後は休日相談ができることを積極的にPRし、創業件数を増やしていきます。  
事業の構想、事業計画の作成、融資等の資金調達の検討など創業までには長い期間を要しますので、今後も、各支

援機関との連携を図りながら、相談者の創業の夢が実現するように支援していきます。

**開設20年余となる連雀出張所の存続は**

**Q** 監査委員から昨年度の予算と事務事業の監査報告及び意見があり、戸籍や各種証明書のコンビニ交付の利用率向上と、連雀出張所廃止の検討に言及した。出張所廃止について市長の見解を伺う。



連雀出張所

**A** **総合的に検討していく**  
現在、コンビニで交付できる証明などの拡大を含め、係る費用や効果、出張所の現状についての調査・分析を進め、諸課題の洗い出しなどを行っています。引き続き、市民サービス全体の向上及び効率化の観点から、総合的に検討していきます。



一般質問

Q & A



創世会  
寺田 幸弘

台風24号の被害経験を生かした今後の対応は

**Q** 今回の停電で防災センターや避難所が暗い中で対応したところがあったと聞く。非常電源確保は早急に予算措置をしてお対応すべきと思うがいかがか。また、莫大な修理費用がかかる大須賀第二排水機場本体ポンプ2台の浸水故障原因と管理体制や今後の対応を伺う。

資機材整備の支援や自家発電設備を検討する

**A** 全ての広域避難所に非常用発電機を整備しており、自主防災会には、防災資機材の補助制度があり、97%が発電機を整備しています。今後も資機材整備を支援し、継続的な燃料補給体制の確立に努めます。  
大須賀第二排水機場のポンプについては、停電の長期化により、ポンプ室外の水位が高い状態が続いたため、

ポンプの空気弁に異物が挟まり、そこからポンプ室内に水が浸入し、モーターが水没して故障しました。

今後の管理体制は、平成32年度から一部事務組合体制から各市間の業務委託方式に移行し、市が主に管理します。専門機関に総合的に判断してもらい、地元水利組合とも協議をしていきます。また、自家発電設備の設置も検討しています。

職員の働き方改革推進を

**Q** 今後、市長は、職員のため、具体的にとどのよう働き方改革を進めていく方針であるか考えを伺う。

ワークライフバランスの実現を図る

**A** 引き続き、業務の見直しや効率化に取り組んでいく必要があります。これらの取り組みを通じて、職員のワークライフバランスの実現を図り、心身ともに健康で意欲を持った職員を増やし、市民サービスの向上につなげていきます。



共に創る掛川  
鈴木 久裕

茶エンナーレは再考を

**Q** 平成29年度に行った第一回に対する評価が良好だったとしても、今後は形を変え、億円単位に迫るような巨費を投ずる大がかりな「茶エンナーレ」は、端的に言って、やめるのが妥当ではないか。

市民力を活かして2020年の開催を目指す

**A** 茶エンナーレ第2ステージは、市民や地域が主役となり、文化芸術を楽しむながら創り上げていく姿を目指しています。  
平成30年10月も、市内各地で、お茶をテーマにした「市民プログラム」を行うなど、市民の芸術活動は大きな広がりを見せていますので、この市民力を活かして3年サイクルである2020年の開催を目指しています。

掛川駅前西街区公有地は、なぜ売却なのか

**Q** なぜ、いま、売却なのか。今回の売却計画は、国の認定を受けた中心市街地活性化基本計画や平成27年度市議会特別委員会の提言等と整合がとれていない。

さらなる中心市街地の賑わいを創出する

**A** 東街区再開発事業の一定の効果により、歩行者通行量の増加や空き店舗への出店数の伸びがみられるなど、西街区の利活用を進める条件も整いつつあります。東街区再開発事業との相乗効果を生み出し、さらなる中心市街地の賑わい創出と掛川市の中心市街地を中東遠圏域を牽引する原動力としていくため今回の考えにいたしました。また、提言とは全体的に整合が図られていると判断します。

【その他の質問事項】

・松ヶ岡整備事業について



創世会  
野口 安男

### 農業推進の成果と今後の取り組みは

**Q** 掛川市の農業推進で、主に、掛川茶の販路拡大、耕作放棄地対策、多面的機能支払交付金について成果と今後の取り組みを伺う。

### さらに推進をしていく

**A** 掛川茶の販路拡大については、掛川茶ひろめ隊の活動により、東北地方5市の茶商から取引相談があり、農協や茶商等へ繋ぐことができました。また、北陸東海や近畿地区でスーパー500店舗を展開する商社等と掛川茶の取引が開始され、成果が出ています。今後消費と販路拡大に向け、進めていきます。

耕作放棄地対策については、耕作放棄地と見込まれる所有者等への今後の意向を調査しました。その成果として、所有者の草刈り等により耕作放棄地の減少につなが

りました。今後はさらに市単独の補助金を活用し、解消につなげていきます。

多面的機能支払交付金については、地域を挙げて守る活動が促進され、農地に関する環境保全や農業施設の維持に貢献しています。今後は、市域全体に広めていくため、新規活動組織の増加に努めていきます。



多面的機能支払交付金による草刈り作業

### キャリア教育についての教育長の考えは

**Q** キャリア教育は、児童生徒が自立を指していくための能力や態度を身に付けていくものである。教育長は、このキャリア教育をどのように考えるか伺う。

### 重要であると捉える

**A** 生涯自立し学び続け、新たな夢や目標を持ち続けるキャリア教育は重要であると捉えています。

### 王将戦と将棋によるまちづくりの今後に関して

**Q** 掛川開催の王将戦も来年10周年を迎える。将棋によるまちづくりをより進めるため

に市内全小学校に将棋盤・駒の設置をする考えはないか。



昨年の王将戦の様子(掛川市提供)

### 市内小学校への将棋盤・駒の設置を検討する

**A** 将棋が教育にもたらす効果として、集中力、忍耐力、判断力、礼儀作法の向上が考えられるので、より多くの子どもたちが将棋を楽しみ、その魅力に触れることができるよう市内小学校への将棋盤・駒の設置について検討します。



創世会  
山本 裕三

### 掛川市人生100年時代構想における今後の方針に関して

**Q** 市で策定が進められている人生100年時代構想の実現に向けて、今後市長は現役世代をどのように考えるか、そして構想のポイントを伺う。

### 「健康」「学び」「働き」をポイントに政策に活かす

**A** 人生100年時代を考えると、後半生を学び直し、生きがいや働きがいを持ち充実させることで、現役時代が長く続き市民のみなさんが「生涯現役」として活躍されることを願っています。

構想のポイントは「健康」、「学び」、「働き」であり、「健康」は生涯お達者、「学び」はリカレント教育などライフスタイルに応じた学び、「働き」は人生100年の中で何度でも役割を担えることなどが重要と考えています。これらを今後の政策に活かしていきます。

※学校を卒業し就職した後も、必要に応じて教育を受けること



一般質問

Q & A

視覚障がい者への福祉施策を伺う



創世会  
小沼 秀朗

**Q** 掛川市総合福祉センター内、掛川駅から掛川城・商店街・掛川市総合福祉センターへの誘導点字ブロックの整備をいかに進めるのか。また「障害者週間」を活用し障がいを

持つ方々をより思いやる施策ができるか伺う。



掛川市総合福祉センター

意見を聞きながら検討する

**A** 視覚障がい者のみなさんの意見を聞きながら検討し、より良い歩行空間が確保できるよう努めます。

より思いやる施策については、改めて商工会議所や商工会等を通じて、障害者差別解消法を啓発するパンフレットを配布することなどにより、

自然災害別の防災を伺う

障がいの有無に関わらず、まちなかで買ひ物や飲食ができるまちづくりにつけていきます。

**Q** 今後の災害別避難場所の設置計画と避難所への自家発電設備、水の確保をいかに整備していくのか。また県内でも多い1,426箇所

の土砂災害危険箇所をどう整備していくのか伺う。

積極的に対応する

**A** 避難場所と避難所の考え方や、まち協の設立

など地域の状況が変わってきているため、新たな避難場所を地域の方々と検討するとともに、地域の資機材等の整備も補助制度などで、積極的に支援していきます。また、被害を出さないためには危険な区域から事前に移転していくことが重要と考え、土砂災害特別警戒区域外への移転促進に資する制度の拡充に向け要望していきます。

【その他の質問事項】

・新天皇祝賀パレードについて

小中一体校推進と市内全域の学校再編の関係は



日本共産党  
勝川 志保子

**Q** 学校の再編は、学校配置、地域コミュニティ

や公共施設マネジメントなど、様々な観点を含めた全市の話し合いを基に方向を決めていくべきではないか。

小中一貫教育と学校再編を同時に進めていく

**A** 小中一貫カリキュラムの研究を進め、今後

市内全域で小中一貫教育を推進していきます。また、学校施設の老朽化や地域による児童生徒の偏り、教員不足等の課題を解決するため、適正規模・適正配置の考え方に基いた学校再編計画を併せて検討していきます。市長部局との協議のほか、市民や地域の方々の御意見等を踏まえながら進めていきます。

市として責任を持った駅前再開発を

**Q** 駅前再開発は基本計画に沿った市が責任を持つ事業。1,965万円もの

地代の滞納を積み重ねている東街区事業が成功しているとは思えない。検証のないままの西街区土地売却は無責任ではないか。



まんまえパーキング

西街区を整備し賑わい創出

**A** 地代の滞納は覚書に基づき猶予している借地

料であり、平成31年4月から返済されることとなっています。西街区を民間に売却し、民間活力による事業を行うことで、中心市街地の賑わいが創出され、東街区との相乗効果を期待しています。

【その他の質問事項】

・高齢化の進む中で、市民の命と健康を守るための責任を持った医療・介護体制のあり方について



共に創る掛川  
松浦昌巳

**掛川市の防災・減災は**

**Q** 各地で地震や豪雨災害が頻発している。掛川市主催の土砂災害や広域避難訓練の様子を広く他地区の市民にも見てもらう工夫ができないか伺う。

**A** 訓練当日は、それぞれの地区で、地域の実情に応じた訓練を行っているため、他地区の訓練を見学することが難しい状況です。しかし、モデル地区の先進的な訓練は、それぞれの自主防災会を運営していくために大変有意義であるため、今後、視察の案内や実施内容を研修会で報告するなど、積極的に新しい視点を地域の訓練に取り入れられるように努めます。

**視察の案内や実施内容を研修会で報告する**

**消防団のあり方は**

**Q** これまで消防団員の活動は火災予防や消火活動が中心だったが、今後はさまざまな災害に対応する災害知識と防災スキルを身に付けて、災害対応能力の向上を推進するべきではないか。

**A** 東日本大震災以降、土砂災害や洪水災害などが各地で数多く発生していることから、あらゆる災害に対応できるよう、倒壊家屋からの救助等の実践的な訓練を取り入れています。また、団員のスキルアップのため、県消防学校で現場指揮や各種災害対策、安全管理などの研修を受け、これら教育や訓練で得た知識を活かし、地域住民への訓練指導も行っています。今後もこれまで以上に災害対応が可能な消防団づくりに向け、必要な訓練を取り入れ、団員の対応能力を向上させていきます。

**団員の対応能力を向上させていく**

**Q** 国定住居圏構想のモデル定住圏の指定と生涯学習都市宣言で市は飛躍した。市庁舎は、市民住民主体の市政の拠点づくり、二十一世紀の自治体経営モデルであるか。

**市民の誇りとなる建築である**

**A** 市庁舎は、住民・市民主体の市政を推進する場、市民が生涯学習にふれあう場などを基本理念としています。生涯学習テラスは、「協働のまちづくり」の象徴として、市民と行政の会議の場としてだけでなく、市民と市民が気軽に意見交換が行われる場としても利用されています。また、市民向けの各種展示やイベント、園児の遠足や小中学生の見学の場所となるなど、大人から子どもまで、庁舎がふれあいの場として利用されています。

**「生物資源・水質保全・市役所」は生涯学習の総本山か**

**Q** 県の補助金は、29年度で打ち切りとなった。30年度は5市1町で負担をし、緊急対応した。31年度はどのようにされるか伺う。当事者は危殆に瀕する。

**障がい児・者の歯科外来診療は**

**A** 平成31年度においても今年度と同様の内容で事業を行い、5市1町で予算措置をする予定です。

**今年と同様の内容で事業を行う**

**【その他の質問事項】**

・掛川市自治基本条例と協働のまちづくりについて



倒壊家屋救出訓練



生涯学習の総本山・掛川市役所本庁舎

用され、市民の誇りとなる建築となっていると考えます。

# 特別委員会 調査報告

各委員会において、所管事務の調査を目的に、行政視察や講話を実施しました。

## 防災意識向上特別委員会

10月2日 講話

● 「震災から学ぶこと」

講師 気仙大工左官伝承館  
館長 武藏裕子 氏

11月30日 講話

● 「議員の災害時の行動について」

講師 特定非営利活動法人  
高田松原を守る会  
副理事長 千田勝治 氏

両氏に掛川市役所に来ていただきお話を聞きました。

東日本大震災で被災された武藏氏は避難所を運営する立場から、千田氏は議会の立場から、当時のような状態だったかを聞くことができました。今後の施策に活かしていきます。

委員長 山本行男



津波の恐ろしさを語る武藏氏

## 観光振興特別委員会

8月22日 長野県上伊那郡飯島町

- 町の活性化を進める住民の事業例
- 地域おこしの取り組み状況
- 移住者増加に関する施策について

8月23日 岐阜県恵那市岩村町

- 岩村城趾、城下町の町並みを活かした観光振興について
- 体験できるプログラムについて

地元の皆様の指導による染め型紙を活用した型染を体験する事ができました。

掛川市においても、観光客へのおもてなしとして歴史文化を楽しむ体験型観光の充実の必要性を感じました。

委員長 大石 勇



岩村コミュニティセンターで型染体験をする様子

## 議会だより編集特別委員会

11月6日 東京都あきる野市議会

- 議会だよりの編集について
- 広報広聴委員会について

11月7日 神奈川県小田原市議会

- 『広報小田原』のリニューアルについて

賛否の分かれた議案を掲載し、各議員の態度を明らかにするなど紙面改善を図ってきましたが、視察を通して、さらに読む側の立場になって掲載する記事の検討をすることが重要だと感じました。

委員長 鷲山喜久



小田原市の広報担当からお話を伺う様子

# 議会日誌

## 10月

- 16日(火) ○議会運営委員会
- 17日(水)～19日(金)
  - 文教厚生委員会行政視察(福岡県福岡市・熊本県熊本市・鹿児島県始良市)
- 18日(木)～19日(金)
  - 総務委員会行政視察(新潟県上越市・長野県長野市)
- 19日(金) ○環境産業委員会協議会
- 23日(火) ○全員協議会
  - 議員懇談会
  - 議員研修会
- 24日(水) ○防災意識向上特別委員会
  - 観光振興特別委員会
- 25日(木) ○文教厚生委員会協議会
- 26日(金) ○議会報告会全体会議
- 29日(月) ○三遠南信・浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進議員協議会総会
  - 太田川原野谷川治水水防組合議会

## 11月

- 29日(月) ○中東遠看護専門学校組合議会
  - 浅羽地域湛水防除施設組合議会
- 30日(火) ○静岡県市議会議長会定期総会
- 2日(金) ○議会報告会(原野谷中学校区)
- 5日(月) ○総務委員会協議会
  - 文教厚生委員会協議会
- 6日(火)～7日(水)
  - 議会だより編集特別委員会行政視察(東京都あきる野市・神奈川県小田原市)
- 8日(木) ○環境産業委員会現地視察・協議会
- 9日(金) ○中東遠地区市議会議長協議会
- 12日(月) ○全員協議会
  - 議員懇談会
  - 議員研修会
- 13日(火) ○議会運営委員会
  - 議員懇談会
  - 防災意識向上特別委員会第1分科会
  - 議会報告会(桜が丘中学校区)

- 14日(水) ○議会報告会(東中学校区)
- 16日(金) ○議会報告会(城東中学校区)
- 20日(火) ○議会報告会(西中学校区)
- 21日(水)～12月21日(金)
  - 掛川市議会第4回(11月)定例会
    - 議会報告会(大浜中学校区)
- 26日(月) ○議会だより編集特別委員会
  - 総務委員会協議会
- 27日(火) ○議会報告会(北中学校区)
- 29日(木) ○議会報告会(大須賀中学校区)
- 30日(金) ○議会運営委員会
  - 防災意識向上特別委員会
  - 観光振興特別委員会

## 12月

- 10日(月) ○議会運営委員会
- 17日(月) ○議会報告会全体会議
- 18日(火) ○防災意識向上特別委員会
- 20日(木) ○観光振興特別委員会
- 21日(金) ○議員懇談会
- 26日(水) ○議会だより編集特別委員会
- 27日(木) ○議会運営委員会

## 1月

- 9日(水) ○議会だより編集特別委員会

## 2月定例会の予定

### 2月

- 20日(水) 本会議(施政方針、議案の提案説明)
- 21日(木) 本会議(議案の提案説明)
- 25日(月) 本会議(30年度関係議案質疑～委員会付託)・常任委員会

### 3月

- 5日(火) 本会議(30年度関係議案委員長報告～採決)
- 6日(水) 本会議(会派代表質問)
- 7日(木) 本会議(一般質問)
- 8日(金) 本会議(一般質問)
- 11日(月) 本会議(一般質問～31年度関係議案質疑～委員会付託)・常任委員会
- 12日(火) 常任委員会
- 22日(金) 本会議(31年度関係議案委員長報告～採決)

## 意見交換会を行いました



意見交換会の出席メンバー

環境産業委員会は「農業委員会」の皆様との意見交換会を10月19日に開催しました。昨年度、初開催された意見交換会は「有害鳥獣処分費用全量掛川市負担、補助金増額や実施隊の発足」に繋がりました。本年は太陽光発電の課題への議論を深め今後のガイドライン作成に向けた意見交換をしました。環境産業委員会では「森の在り方や活用方法を考えた再生可能エネルギー」を今後も調査研究していきます。

## 傍聴席

傍聴前に六階展望台でパノラマを体感しました。私は二年間で五回程傍聴しました。傍聴するきっかけはある議員さんのお誘いでした。議場は緊張のなが真剣に議論されています。一般質問は一括回答でした。今回は防災対策、新庁舎、協働のまちづくりについて興味があり拝聴しました。実際傍聴すれば、市長・議員さんの考え、思いがより分かり易く、市民の声を議員さんが代弁し行政に伝えて頂けると思いました。傍聴席は、緊張とリラクセスの雰囲気です。皆さまも傍聴席に出掛けて観ませんか？お勧めします。

原田福司(西山口・葛川区)

## 編集後記

先日、議会だより編集特別委員会にて、東京都あきる野市と神奈川県小田原市に調査研究に行っていました。あきる野市では議会だよりを全面リニューアルし巻頭に取材特集記事を採用し広聴機能強化をしていました。小田原市ではインパクトある表紙を採用し新しい読者層(30代、40代)の獲得を目指していました。両市ともこちらが伝えたい内容を一方的に伝えるのではなく、市民目線にたち、思わず手に取りたいくなる、読みやすい紙面づくりを心掛けていました。そうした姿勢はとても重要であり掛川市でも直ぐできることだと感じました。

議会だより編集特別委員会  
委員 榛村航一

